

科目名 水産生態学特論 (2単位)

担当者氏名 千葉 晋

◆学習・教育目標

近年、様々な水産有用魚種で、資源量の著しい減少が報告されており、世界規模の経済問題となっている。この講義では、水産をベースとした応用生態学を扱い、漁業活動による水圏生態系の歪みとその解決策について、最新の知識を教授する。個体群生態学、群集生態学、進化生態学的見地から漁業活動について考え、生態系に対する漁業の影響を知り、対策や解決策を学ぶ。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

持続可能な漁業 生物多様性保全 生態系サービス 生物多様性保全  
 個体群生態学 保全遺伝学 保全生態学 保全遺伝学

◆授業の進行等について (単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1回	漁業生産の現況 (1)	世界の漁業生産の解説	履修登録の参考とすること
2回	漁業生産の現況 (2)	混獲・海洋投棄の問題	予告内容に関して予習すること
3回	生物多様性	遺伝子、種、群集の多様性	予告内容に関して予習すること
4回	生態系サービス (1)	生態系サービスの概念	予告内容に関して予習すること
5回	生態系サービス (2)	生態系サービスからみた漁業	予告内容に関して予習すること
6回	生態系サービス (3)	生態系サービスの定量	予告内容に関して予習すること
7回	漁業と生活史進化 (1)	局所適応、メタ個体群	予告内容に関して予習すること
8回	漁業と生活史進化 (2)	漁業に起因した表現型可塑性	予告内容に関して予習すること
9回	漁業と生活史進化 (3)	漁業に起因した形質変異	予告内容に関して予習すること
10回	漁業と群集	メタ群集	予告内容に関して予習すること
11回	漁業と生態系 (1)	特に、食物網	予告内容に関して予習すること
12回	漁業と生態系 (2)	特に、生息場所	予告内容に関して予習すること
13回	生態系基盤水産資源管理 (1)	生活史解明の意義	予告内容に関して予習すること
14回	生態系基盤水産資源管理 (2)	海洋保護区の意義	予告内容に関して予習すること
15回			予告内容に関して予習すること

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

生態系サービスと人類の将来 / Millennium Ecosystem Assessment / オーム社(2007年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

出席点とレポート点で評価する

◆その他受講上の注意事項

英語資料を多用する